

● ● ● 2025年10月～12月期 栃木県中小企業景況調査(186回) ● ● ●

業況

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況

D I 値

-14.7

※全国 -17.5

県内全体の業況(DI値)は、前期(7-9月期)から1.1ポイント改善し-14.7ポイントとなり、全国との比較でも11期連続で全国平均を上回る結果となった。業種別の前期比を見ると、製造業では17.4ポイントの大幅悪化となったが、建設業では3.3ポイント、小売業では11.3ポイント、サービス業では13.2ポイントの改善となった。

経営上の問題点の上位について、製造業においては需要の停滞、建設業、小売業及びサービス業においては原材料価格や仕入単価の上昇があげられており、いずれも資源価格の高騰による物価高の影響を大きく受けていることが見受けられる。

来期の県内全体の業況は10.0ポイント改善し-4.7ポイントの見込みで、業種別に見ると、サービス業では1.6ポイントの小幅悪化が見込まれているが、製造業では25.2ポイント、建設業では7.7ポイント、小売業では3.6ポイントの改善傾向が見込まれている。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
製造業						
	DI値	-19.8	13.8	77.8	-10.4	-7.1

業況：前期から17.4ポイントの悪化、来期は大幅改善の見込み

業種	項目	今期(全体)
建設業		
	DI値	-16.3

業況：前期から3.3ポイントの改善、来期もさらに改善の見込み

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
小売業						
	DI値	-13.1	-21.9	75.6	-24.3	-7.3

業況：前期から11.3ポイントの大幅改善、来期もさらに改善の見込み

業種	項目	今期(全体)
サービス業		
	DI値	-6.1

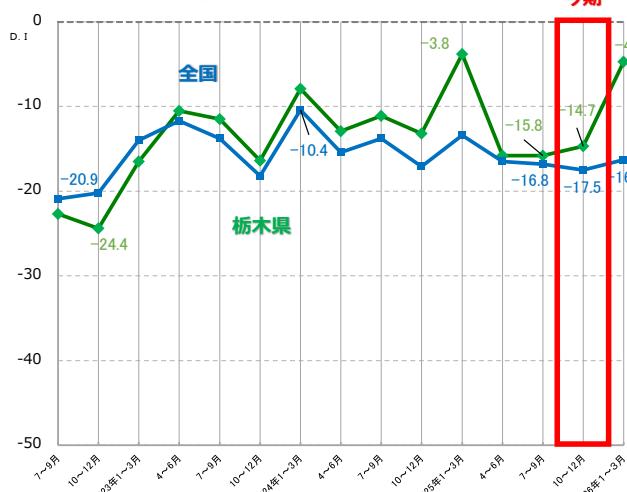
業況：前期から13.2ポイントの大幅改善、来期は小幅悪化の見込み

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
サービス業						
	DI値	-6.1	6.9	74.1	-15.5	-3.7

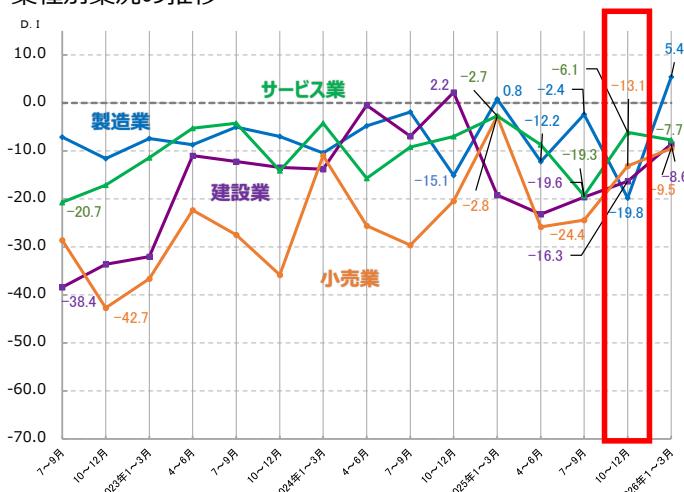
業種	項目	今期(全体)
サービス業		
	DI値	-7.7

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移



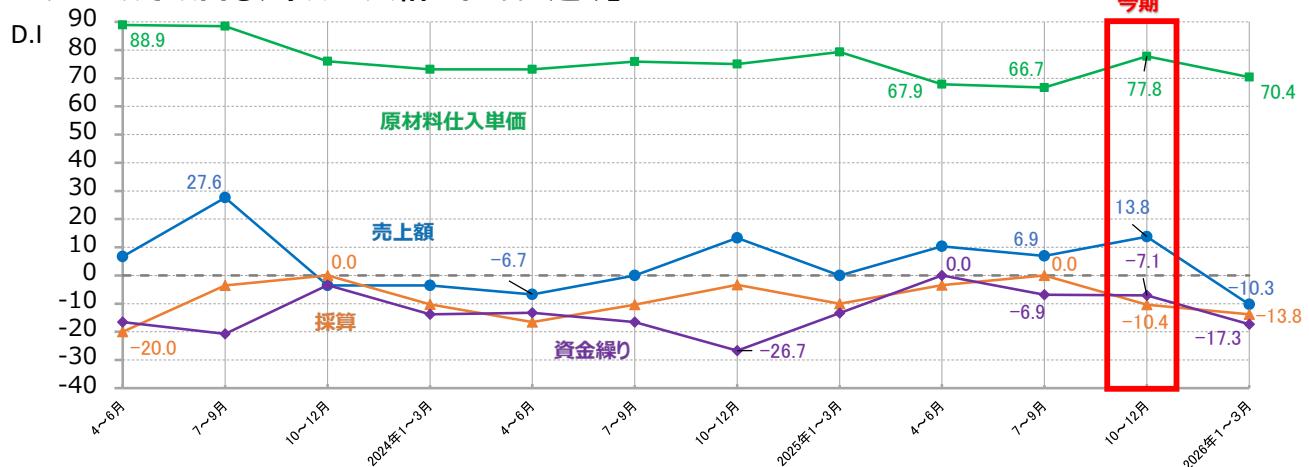
業種別業況の推移



－業種別主要景況項目の推移－

製造業

「売上額で改善も、来期は大幅悪化の見込み」



「売上額」は6.9ポイント(6.9→13.8)の改善となったが、来期は24.1ポイント(13.8→-10.3)の大幅悪化が見込まれる。「採算」は10.4ポイント(0.0→-10.4)の大幅悪化となり、来期もさらに3.4ポイント(-10.4→-13.8)悪化の見込み。「原材料仕入単価」も11.1ポイント(66.7→77.8)の大幅悪化が見られたが、来期は7.4ポイント(77.8→70.4)の改善の見込み。「資金繰り」はほぼ横ばい(-6.9→-7.1)となったが、来期は10.2ポイント(-7.1→-17.3)の大幅悪化が見込まれる。

【経営上の問題点】 第1位： 需要の停滞 (28.9%)

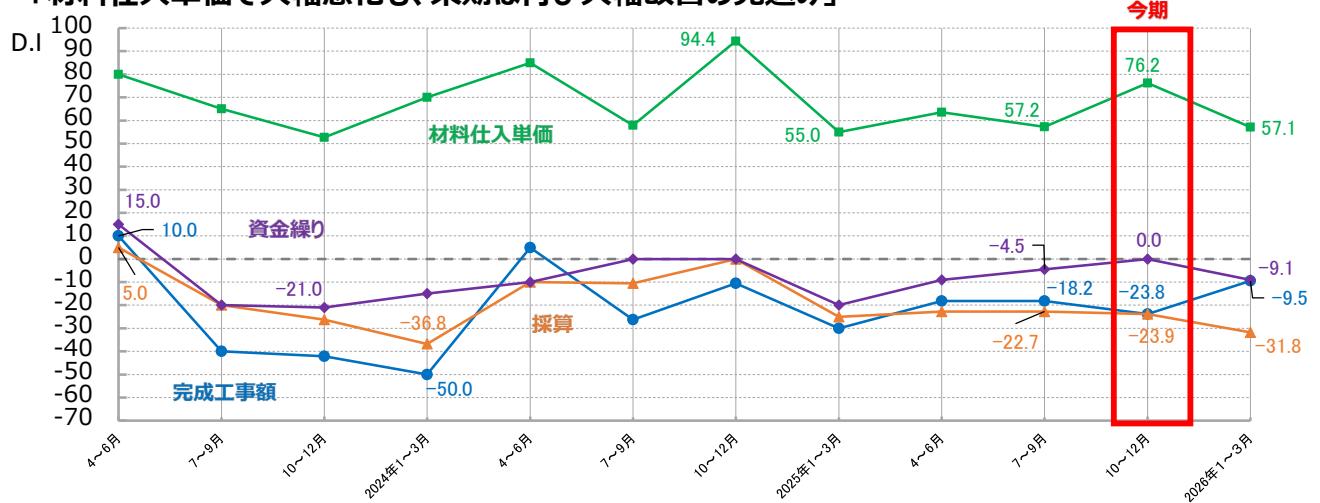
第2位： 人件費の増加 (18.2%)

第3位： 製品ニーズの変化への対応 (10.6%)

第4位： 従業員の確保難 (10.6%)

建設業

「材料仕入単価で大幅悪化も、来期は再び大幅改善の見込み」



「材料仕入単価」は19.0ポイント(57.2→76.2)の大幅悪化となったが、来期は、19.1ポイント(76.2→57.1)の大幅改善が見込まれる。「完成工事額」は5.6ポイント(-18.2→-23.8)の悪化となったが、来期は14.3ポイント(-23.8→-9.5)の大幅改善が見込まれる。「資金繰り」は4.5ポイント(-4.5→0.0)の改善となったが、来期は9.1ポイント(0.0→-9.1)悪化の見込み。「採算」は1.2ポイント(-22.7→-23.9)の小幅悪化となり、来期はさらに7.9ポイント(-23.9→-31.8)悪化の見込み。

【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇 (46.6%)

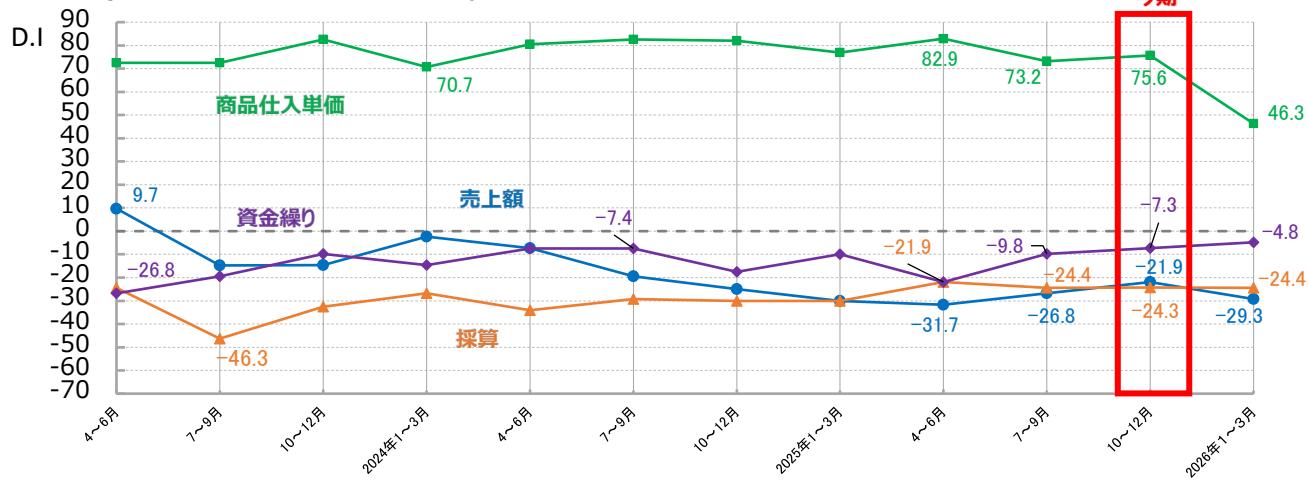
第2位： 従業員の確保難 (20.0%)

第3位： 材料費・人件費以外の経費の増加 (6.7%)

第4位： 取引条件の悪化 (6.7%)

小売業

「商品仕入単価で悪化も、来期は大幅改善の見込み」



「商品仕入単価」は2.4ポイント(73.2→75.6)の悪化となったが、来期は29.3ポイント(75.6→46.3)の大幅改善が見込まれる。「売上額」は4.9ポイント(-26.8→-21.9)の改善となったが、来期は7.4ポイント(-21.9→-29.3)の悪化が見込まれる。「資金繰り」は2.5ポイント(-9.8→-7.3)の改善となり、来期もさらに2.5ポイント(-7.3→-4.8)改善の見込み。「採算」はほぼ横ばい(-24.4→-24.3)で、来期も横ばい(-24.3→-24.4)の見込み。

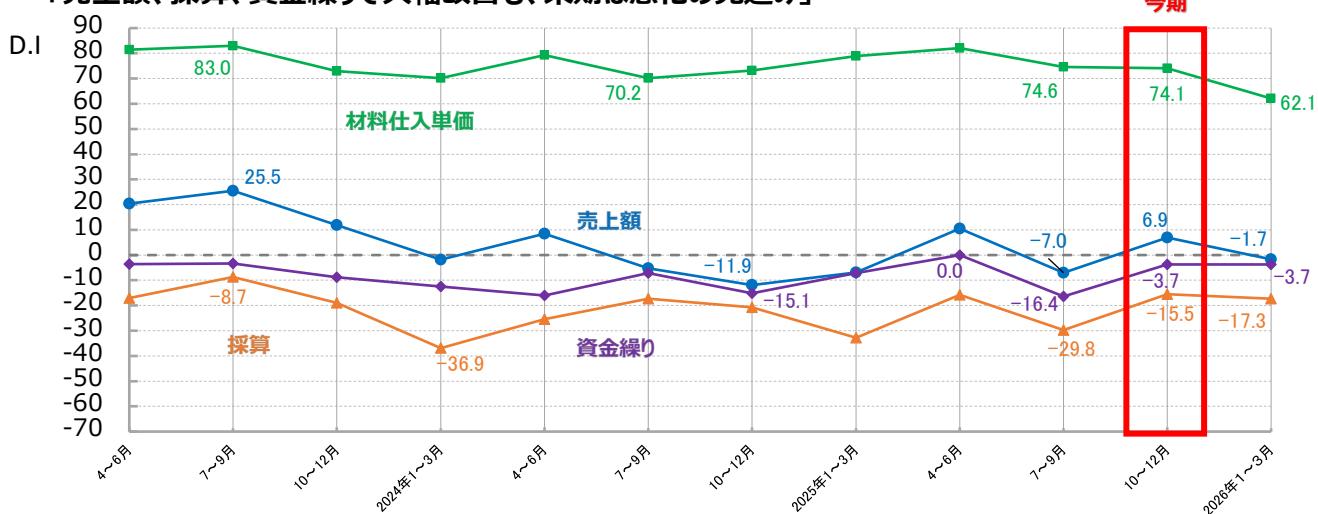
【経営上の問題点】 第1位：消費者ニーズの変化への対応 (22.6%) 第2位：仕入単価の上昇 (22.6%)

第3位：需要の停滞 (13.2%)

第4位：大中型店の進出による競争の激化 (7.5%)

サービス業

「売上額、採算、資金繰りで大幅改善も、来期は悪化の見込み」



「売上額」は13.9ポイント(-7.0→6.9)の大幅改善となったが、来期は8.6ポイント(6.9→-1.7)悪化の見込み。「採算」は14.3ポイント(-29.8→-15.5)の大幅改善が見られたが、来期は1.8ポイント(-15.5→-17.3)悪化の見込み。「資金繰り」は12.7ポイント(-16.4→-3.7)の大幅改善となり、来期は横ばい(-3.7→-3.7)の見込み。「材料仕入単価」もほぼ横ばい(74.6→74.1)となったが、来期は12.0ポイント(74.1→62.1)の大幅改善が見込まれる。

【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇(36.8%)

第3位：人件費の増加 (9.9%)

第2位：利用者ニーズの変化への対応 (12.7%)

第4位：店舗施設の狭隘・老朽化 (7.0%)

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的実施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・上三川町・うつのみや市・西方・市貝町
壬生町・藤岡町・氏家・那珂川町・西那須野

○調査時点

2025年12月1日

○調査対象期間

2025年10月～12月期の実績及び、2025年1月～3月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	29	19.3%
建設業	22	14.7%
小売業	41	27.3%
サービス業	58	38.7%
合計	150	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I値とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指標として利用される。また、D I値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不变企業が30%、減少企業が20%となつたとすると、D I値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875